



【クラブテーマ】もっと知ろう

第3回臨時理事・役員会を3/12（月）18:00～より例会前に例会場にて開催いたしますのでご出席を宜しく
お願い致します。

S. 16. 3. 16 田島勝明君 S. 22. 3. 4 川又正樹君

S. 49. 3. 17 大鳥居 宏・祥子 夫妻
S. 42. 3. 18 小西宗十・由美子 夫妻
S. 42. 3. 20 平石晃一・久子 夫妻
S. 44. 3. 21 越智和博・ハツエ 夫妻
S. 55. 3. 23 鳥越敏博・由美 夫妻
S. 44. 3. 29 井上雅弘・順子 夫妻

・佐世保RC 三浦桂一郎君

「ものづくり先進国」を国是とする我が国にとって、「世界の工場」へと進化し続ける中国との協業は、これから、ますます必要になってきます。そのためには、日中双方の若い技術者が、両国の相互理解を深め、地球環境維持と経済発展を両立させて「ものづくり」を行うという共通の目的意識を持ち、新しい信頼関係を築くことが肝要です。「ものづくり技術者」の育成をミッションとする佐世保高専は、この観点にたつて、佐世保市-廈門市の姉妹都市締結20周年を機に廈門理工学院と交流協定を結び、2005年度より学生交流をはじめました。この事業において、学生の渡航費および滞在費等は、受益者負担の原則により公費で負担することが禁じられており、佐世保北ロータリークラブが全面的に支援しています。そのお陰で、1年目は4人、2年目は6人の学生が3週間づつの交流体験を味わうことができ、セミナー、授業見学、先端技術実験実習、工場見学、日系企業での短期就業体験、異文化体験、寮生との交流行事などを通じて多くの成果を上げることができました。3月2日の佐世保-中国国際フォーラムに参加された方には実感いただけたと思いますが、わずか3週間の交流でも感受性の豊かな若者達にとっては、計り知れないほどの効果があります。この事業を今後とも長く続け、技術者教育を行う全国の大学や高専のモデルプログラムするのが、佐世保高専の仕事だと思っています。末永くご支援いただければ、幸いです。

なお、2007年度の佐世保-中国国際フォーラムは10月末～11月始めに厦門で行う予定にしています。多くのロータリアンと厦門にご一緒できることを願っています。

17～18年度 富田耕司国際奉仕委員長
厦門学生支援の経過を説明後

==クラブ会員の意見==

中山 誠会員
趣旨はよい事であるが35万円の支援は金額的に高額ではないか。

昨年来ジャーナリズムの報道等は、日中間は関係が悪化しているが、お互いの文化を知り合う上で、交換留学は大変意義のあることである。

中国との関係は今後大変重要であり、一委員会だけで行う事業（セクト主義）ではなく他の委員会と連携すれば予算の問題はクリアするのではないか？

日本人も中国人もアジア民族である。続けなくてはならない事業である。

頭初から資料もなにもなく短時間の会議のみで行った事業であり、今後続けるならば検討する時間をもっと必要である。

趣旨に異論はない。しかし事業全般を通し説明不足であった。時間をかけ中身を良く吟味すればよい意見が数多く出てくるのではないかと。

お礼 井上雅弘 佐世保工業高等専門学校長

広報補助金対象クラブが決まりました

今回の広報補助金は、本誌1月号の「座談会」のAnnotationでもお伝えした通り、日本だけでも207クラブ、世界全体では約4,000クラブが申請するといううれしい悲鳴状態に陥り、選別に思わぬ時間がかかったために各クラブへの通知も大幅に遅れてしまいました。

国際ロータリー（ＲＩ）では、2月2日付のEメールで、連絡が遅れたお詫びとともに、その結果および補助金額を各申請者に連絡いたしました。

日本関係では、申請額満額あるいは一部減額補助を含め、47のクラブが申請した企画に対し補助金を受けることになりました。

ちなみに、補助金対象クラブが一番多かったのは、第2750地区で7クラブ、2位は第2650地区の6クラブでした。これらのクラブは、同時に送られたR I のガイドラインに沿って、6月1日までにプロジェクトを実施して報告書を提出すれば、R I から補助金が交付されることになっています。

詳細は「友」ホームページをご覧ください。

<http://www.rotary-no-tomo.jp/jpn/index.html>

ロータリアン、災害対応会議を開催

米国、ルイジアナ州、ニューオーリーズで1月11-13日に開催された災害対応ワークショップに、緊急支援と被災地再建を経験した多くのロータリアンを含む、200名を越す参加者がありました。

ボイドRI会長とウィルフレッド J. ウイルキンソン

RI会長エレクトも出席しました。

会議の目的は、災害に対して、ロータリアンが、如何にして、より効果的な方法と管理で対応可能か、でした。
“ワークショップでは、災害に対応しようとしている他の組織と、我々の連絡の必要性を浮彫りにしました”とバリー ラシンRI理事、ロバート・スチュアートRI理事と一緒に、このワークショップを開催した、ドナルド L. シーバスRI理事が語りました。

ワークショップの議長、ドナルド・ショーヴィン (Donald Chauvin) 氏は、“この催しは、経験を分かち合い、災害時に、ロータリアンが種々の方法で支援が出来る事を、知らせるものでした”。と語りました。2005年にハリケーン・カタリーナとリタが来襲した時に、ショーヴィン氏は6200地区 (ルイジアナ州) のガバナーでした。

災害の経験をした前地区ガバナーを含む、7名の座長が、各分科会の討論を指導しました。議題に上がったのは、ロータリーの役目、計画と準備、他の組織との連携、連絡と広報、ロータリーのネットワークの利用、でした。

緊急支援団体、シェルター・ボックス (Shelter Box) の創立者で、英国、ヘルストン・リザード (Helston-Lizard) RCの、トム・ヘンダーソン会員 (Tom Henderson) は、“ワークショップはネットワーク構築の機会を与え、良く組織された会議でした”と語りました。

バハマ諸島と、米領バージン諸島を含む10ヶ国の広い地域をカバーする7020地区の、リチャード・マッコム (Richard McCombe) 地区ガバナーエレクトが“我々の計画では、この会議で得た新しい情報を含む災害対策計画を2007-08ロータリー年度末迄に作成する事です”と語りました。

会議終了後に、参加者はニューオーリンズ近郊と、ルイジアナ州とミシシッピ州で、未だにハリケーンの被害の跡が残っている地域を訪ねました。

“見学ツアーは、皆にとり、心の痛むものでした。其処には幾マイルも続く荒廃した地域があり、2005年8月に実際に何が起こったかの現実を見て、参加者達は、自分の出身地で災害が実際に起こった時に、どうなるかを、深く考えさせられました”とショーヴィン委員長が語りました。

《ニコニコBOX》 小原孝清 親睦活動委員

古賀新二会長 宮原明夫幹事

国際交流フォーラムに参加してきました。
ちょうど今日の第6回クラブフォーラムの主題に関係しています。縁あって2週続けての幹事登板ですが、ここで一曲。“愚痴も言わぬが女房の小春” 活発な会議をお願いします。

松尾辰二郎君

本日の厦門留学生支援の件に関するフォーラム、委員長不在の為、進行は宮原幹事がなさるとか、とかく問題のある事柄だけに、気の毒ですけどがんばって下さい。

富田耕司君

本日のフォーラムにニコニコします。
明夫がんばれ (宮崎談)

野畑義博君

昨日は川又会員の60歳の誕生日でした。早朝から深夜まで誕生日祝いのお名目で楽しく遊ばせてもらいました。途中交通事故のようなバーディーやオレオレサギのような(地和)があり大いにもり上がりました。
願わくば来年も元気に61才の誕生日を迎えてください。

須田 昇君

唯今新潟に出張中です。必ず帰ります。
本日のフォーラム宜しく御願います。

小西宗十君

結婚祝い、ありがとうございます。

平石晃一君

3、4月の司会進行の担当をします。よろしくお願い致します。結婚祝いありがとうございます。

鳥越敏博君

中山会員から言われて知りました。今月結婚祝いだそうです、ニコニコします。
おかげ様で孫も2才になり今後はほそぼそとロータリーに貢献しようと思っております。

宮原明夫君

今年度も後4ヶ月。禁煙の方ももうすこし頑張ります。段々、舌が2枚になってきました。
本日のフォーラム、帰らずよろしくお願いいたします。

豊島揆一君 峯 徳秀君 棧 護君 小西宗十君 藤井良介君 二ノ宮 健君 緒方信行君

先月の佐世保ー中国国際交流フォーラムに出席の皆様、お疲れさまでした。
大変稔りあるフォーラムでした。
本日のクラブフォーラム、宮原幹事、国際奉仕委員会を背負って頑張ってください。

川又正樹君 田島勝明君

誕生祝ありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

親睦活動委員会

中山 誠君 藤井憲二君 深町 等君 小原孝清君 中野雄一郎君 深堀昌二郎君

本日より、親睦活動委員会の期待の星。小原会員がニコニコを読むことになります。
緊張することがあったり、間違っても長い目であたたく見守ってください。

本日の合計 43,000円

累計 1,275,270円

クラブ会報委員会 委員長 / 大鳥居 宏

委員 / 小西宗十 棧 護 井上雅弘 岡井正明 (記事担当者 大鳥居 宏)